

北区近代化産業遺産ガイドマップ

北区近代化産業遺産とは

- (1) 幕末・明治維新以降、我が国の産業は他国に例を見ないスピードで近代化をなしとげました。その近代化に大きく貢献した産業遺産が全国各地に点在しています。経済産業省が「近代化産業遺産」として認定しています。
- (2) 経済産業省は、平成19年度に製糸、製紙、製鉄、造船、鉱山など33ストーリー(575件)を「近代化産業遺産群33」として認定し、北区内には5か所の産業遺産が認定されました。
- (3) 平成20年度には、建造物・機械等の33ストーリー(540件)を「近代化産業遺産群 続33」として認定し、北区内には1か所の産業遺産が認定されました。



洋紙の国内自給を目指し、北海道へと展開した、製紙業の歩みを物語る近代化産業遺産群、北海道・王子製紙関連のいくつかの遺産とともに平成19年度に認定されました。



渋沢史料館

紙の博物館

国立印刷局 王子工場
(お札と切手の博物館)

国立印刷局 滝野川工場

東書文庫



旧岩淵水門
荒川放水路



国土の安全性を高め都市生活や産業発展の礎となった、治水・砂防の歩みを物語る近代化産業遺産群、各地の川に関する堤防や発電所等の遺産とともに平成20年度に認定されました。

日本の治水、砂防の歩みを物語る 近代化産業遺産群ストーリー

- 1875 ● 明治8年 淀川水系不動川近代的砂防堰堤完成 (京都府) (技術者：ヨハニス・デ・レーケ)
- 1896~1910 ● 明治31~43年 新淀川開削・大阪湾内導水堤築造 (大阪府) (技術者：沖野忠雄)
- 1902 ● 明治35年 木曾三川分流工事船頭平閘門竣工 (長野県) (技術者：ヨハニス・デ・レーケ)
- 1924 ● 大正13年 岩淵水門竣工 (東京都) (技術者：青山士)
- 1930 ● 昭和5年 荒川放水路完成 (東京都) (技術者：青山士)
- 1931 ● 昭和6年 信濃川放水路大河津分水工事完成 (新潟県) (技術者：青山士、宮本武之輔)

発行 東京都北区
地域振興部産業振興課

H24.12発行 刊行物発行番号24-2-034

東京都北区王子1-11-1 北とびあ11階
Tel.03-5390-1234 Fax.03-5390-1141
北区観光ホームページ URL: <http://www.kanko.city.kita.tokyo.jp/>
メール: sangyoshinko2@city.kita.lg.jp 再生紙を使用しています

製紙業の歩みを物語る 近代化産業遺産群ストーリー



- 1873 ● 明治6年 抄紙会社創立(製紙会社を経て王子製紙) (洋紙発祥の地)
- 1876 ● 明治9年 紙幣寮抄紙局 工場(現国立印刷局王子工場)設置
- 1879 ● 明治12年 印刷局抄紙部 配合分科(稲わらパルプ工場)設置
- 1882 ● 明治15年 製紙会社(稲わらパルプ工業化)
- 1889 ● 明治22年 王子製紙気田工場(わが国初の木材パルプ)開業
- 1904 ● 明治37年 教科書の国定化
- 1909 ● 明治42年 東京書籍設立
- 1910 ● 明治43年 王子製紙 苫小牧工場開業
- 1917 ● 大正6年 晩香廬竣工
- 1919 ● 大正8年 日本加工製紙 王子工場開業
- 1925 ● 大正14年 青淵文庫竣工
- 1931 ● 昭和6年 印刷局 滝野川工場設置



1/ 抄紙会社の誕生

渋沢栄一は、「文明開化にとって紙と印刷が必須、それも洋紙でなければならない」と、明治6年(1873)に抄紙会社(明治9年に製紙会社、明治26年に王子製紙株式会社に改称)を創立し、明治8年(1875)から洋紙の製造を開始しました。

王子の地は、原料であるポロ布の調達容易で、石神井川・千川用水の良質な水が得られ、原料・製品の運搬が便利というように、原料・水・輸送の三拍子がそろっていました。

2/ 紙幣の国産化

紙幣の国産化を目指した明治政府は、早くも明治4年(1871)に大蔵省に紙幣司(後の紙幣寮、現国立印刷局)を設け、明治9年(1876)には銀行券用紙を製造する抄紙工場(現在の国立印刷局王子工場)を建設しました。なお、国立印刷局滝野川工場は、明治9年(1876)に建設された大手町工場の証券部門が昭和6年(1931)に移転して設置されたものです。

3/ コンビナートの形成

王子地域には、王子製紙、印刷局抄紙部の両者が軸となって、ソーダや晒粉などの製紙業品、抄紙用フェルトの製造会社、あるいはアート紙製造会社などが設立され、わが国初といわれるコンビナートを形成していきました。

4/ 国定教科書

明治37年(1904)に小学校の教科書が検定制度から国定制度に変わり、教科書にはすべて洋紙が使用されることになりました。

教科書の国定化とともに明治42年(1909)に東京書籍が設立されました。東書文庫(昭和11年設立)には江戸時代から現在までの教科書などが所蔵されています。

5/ 紙の原料の変遷と工場立地

製紙工場の立地は、原料の変遷に伴って、ポロ布の時代には都会地周辺、木材の利用が始まって谷あいへ、需要の増大に応えるためさらに平地へと移行していきました。なかでも、北海道の豊富な森林資源が注目され、明治43年(1910)に新聞用紙を専門に製造する王子製紙苫小牧工場が操業を開始し、新聞用紙は輸入紙から、完全に国産品に置き換わりました。



北区近代化産業遺産ガイドマップ

- 凡 産業遺産スポット 観光スポット
 例 ① ② コミュニティバス バス停
 ●●●●●●●●●● コミュニティバス ルート
- 神社・寺院 トイレ 駐輪場 駐車場



国立印刷局王子工場 (お札と切手の博物館)

王子1-6-1 TEL.03-5390-5194

【料 金】無料
 【開館時間】9:30~17:00
 【休 館 日】月曜(祝日の場合は翌日)・年末年始(臨時休館日有)

王子工場は、明治9年に東京府下王子村に設立され、印刷局における製紙工場として、日本銀行券用紙をはじめ、郵便切手、収入印紙等の各種用紙を製造し、日本の製紙業の発展にも少なからず貢献してきました。その後、日本経済の高度成長に伴う社会環境の変化に対応して、製紙工場から印刷工場へと変換を図り、現在では郵便切手等の製造を行う都市型工場となっています。工場内をご覧いただくことはできませんが、正門横の「お札と切手の博物館」にお立ち寄りください。お札や切手の歴史や製造技術について、展示や体験を通して総合的に学べます。



紙の博物館

王子1-1-3 TEL.03-3916-2320

【料 金】一般300円 小中高100円 団体(20名以上) 一般240円 小中高80円
 【開館時間】10:00~17:00
 【休 館 日】月曜(祝日の場合は翌日)・年末年始(臨時休館日有)

北区は洋紙発祥の地。明治6年(1873)、渋沢栄一によって抄紙会社(のちの王子製紙)が設立され、日本の製紙業の先駆的な役割を果たしました。当館は昭和25年(1950)旧王子工場の跡地に設立、平成10年(1998)3月現在地に移転・開館しました。古今東西の紙に関する資料を幅広く収集、保存、展示し、紙専門の博物館としては世界有数の規模を誇っています。また、「紙すき教室」をはじめとして各種の紙工芸品の手作り講習会や、総合学習・生涯学習の場を提供し、社会教育施設としての役割を果たしています。



渋沢史料館

西ヶ原2-16-1 TEL.03-3910-0005

【料 金】一般300円 小中高100円 団体(20名以上) 一般240円 小中高80円
 【開館時間】10:00~17:00
 【休 館 日】月曜(祝日の場合は翌日)・年末年始(臨時休館日有)

日本の近代経済社会の基礎を築いた渋沢栄一(1840~1931年)の事績と思想、栄一の生きた時代に関する資料の収集、保存、調査研究と同時に、展示を含めた種々の教育事業等を行っています。渋沢栄一の活動や考えをより深く紹介する企画展をはじめとして、地元(東京都北区周辺)に根ざしたテーマから海外にまで視野を広げたテーマを対象に活動を展開しています。隣接する「旧渋沢庭園」は、渋沢邸跡の一部で、そこに現存する大正建築「晩香廬(ばんこうろ)」「青淵文庫(せいえんぶんこ)」(共に国指定重要文化財)の保存・管理・公開も行っています。



国立印刷局滝野川工場

西ヶ原2-3-15 TEL.03-5567-1102

国立印刷局が有する7工場の中で最も中心的な印刷工場で、最新の設備を用い、銀行券をはじめ諸証券等のデザインからインキ製造、製版、印刷、検査まで一貫した製造を行っています。昭和6年に滝野川の地に設置されて以来、品質の維持向上を目指し、職員ひとりひとりが責任感と誇りをもって日々の業務に取り組んでいます。また、ISO14001認証工場として環境保全活動にも積極的に取り組み、地域との共生、そして今回認定された近代化産業遺産を後世に残すための努力をしています。平成21年8月末まで行っておりました工場見学ですが、現在、工場敷地内の工事に伴い、当面の間中止とさせていただきます。

旧岩淵水門・荒川放水路

志茂5-41-2先 国土交通省荒川下流河川事務所 TEL.03-3902-2067



旧岩淵水門は大正5年から8年間、荒川放水路は明治44年から20年間の歳月をかけて建設されました。工事を監督したのはパナマ運河建設に携った青山士(あおやまあきら)です。以来、荒川下流域に住む人々の暮らしを洪水から守ってきました。昭和30年代の改修工事で赤い色に塗りかえられたことから「赤水門」という愛称で地元の人々に親しまれています。現在は、水門としての役目を終え、下流にある青い岩淵水門が役割を果たしています。



独立行政法人 国立印刷局王子工場 (お札と切手の博物館)

王子駅前 王子駅前公園

東書文庫 (東京書籍株式会社附設 教科書図書館 東書文庫)

栄町 栄町48-23

東書文庫

栄町48-23 TEL.03-3927-3680

東書文庫は、昭和11年に設立された教科書図書館です。江戸時代の藩校や寺子屋で使用された教科書から現在までの教科書など約15万2千点を所蔵しています。平成21年には所蔵品のうち約7万6千点が、国の重要文化財に指定されました。
 【閲覧室】所蔵品を図書目録またはカードで検索し、閲覧することができます。またホームページ上でも検索できます。
 【展示室】江戸時代から現代にいたるまで、各時代の教科書を中心に所蔵品の一部を展示しています。

